

平成29年度農地中間管理事業の取組計画

公益財団法人鹿児島県地域振興公社

農地中間管理事業については、制度開始後3年を経過し、農業者の事業への理解や市町村の取組の広がりなどある程度制度の浸透が図られたものの、まだ十分に周知されているとは言えず本県の年間転貸目標面積には達していない状況にある。

平成29年度は、今までの取組結果を分析しつつ、新たな農業委員会制度への本格的な移行や土地改良制度の見直し等にも対応しながら、県や市町村をはじめ関係機関・団体との連携をさらに強化し、担い手への農地の集積・集約化につながるよう、本事業の一層の推進に取り組む。

1 農地中間管理機構への年次集積目標面積

3, 200ha

2 対象市町村

41市町村等（三島村，十島村を除く全市町村）

3 公募計画

年7回の定期公募及び必要に応じた臨時期の公募

4 目標達成に向けた基本姿勢

- ・市町村ごとの目標面積の設定（県で指示）
- ・県地域振興局・支庁単位の推進会議における助言・支援
- ・目標達成に向けた実施状況の把握と実施方策等の提案

5 平成29年度の推進方策

（1）農業者等への継続した啓発活動

- ・マスコミや各種広報誌等を活用した事業周知
- ・農業者が参集する会議や研修会での事業説明
- ・事業に取り組もうとする地区リーダーへの事業活用の働きかけ
- ・土地持ち非農家向けの啓発資料を活用した公共的施設でのPR
- ・制度活用者（担い手等）の活用意向の把握や事業実施状況等情報の発信

（2）市町村等への推進活動

- ・農地中間管理事業利用意向等農地の情報収集とHP公表によるマッチング支援
- ・市町村説明会（4/26. 県合同）、中間検討会及び次年度対策検討会の開催
- ・市町村トップへの推進
- ・市町村の事務担当者研修会（4/27・新任者）
- ・市町村の事業推進員研修会の開催
- ・市町村への巡回，活動実績の少ない市町村への重点的な巡回，取組手法の提案
- ・既に取り組んだ市町村や地区の取組事例を作成し，取組方法を他市町村，地区へ紹介

（3）農地利用最適化推進委員との連携

- ・県，農業会議等と推進委員との連携の仕組み構築と実施
- ・研修会等への参画による農地中間管理事業の周知

(4) 農地整備事業と連携した推進活動

- ・農地整備に関する担当部局，関係機関との連携の仕組み構築
- ・土地改良事業に係る換地等の情報収集の仕組み構築
- ・農地整備事業実施（予定）地区の事業推進員等への農地中間管理事業の周知

(5) 重点地区を中心とした重点推進活動

- ・市町村が設定した地区の支援活動及び実施状況の把握
- ・機構の重点市町村の設定及び推進
- ・中間管理事業の活用が見込める，人・農地プラン実践地区での事業の進め方等の提案

(6) 中山間地域等の作物団地における取組の強化

- ・果樹産地協議会や県と連携した推進活動
- ・既に事業に取り組んだ茶団地の取組方法の他地区への紹介

(7) 農業関係機関・団体との連携強化

- ・対市町村：地区への連携した推進活動
- ・対農業委員会組織：農地集積最適化推進活動との連携
- ・対県土改連，土地改良区：条件整備等事業実施地区の情報収集と農地中間管理事業の活用推進
- ・対JA県中央会，JA：産地づくりへの事業活用のあり方提案

(8) 推進体制の強化

- ・本部職員の地区及び市町村担当者の配置
- ・公社における地域事業推進員と本部職員の連携活動の充実・強化
- ・地域事業推進員による各地区の情報収集と提供の充実
- ・市町村事業推進員の活動を活発にするための取組（研修会，情報提供等）

(9) 事務の簡素化，効率化

- ・農業者，市町村の申請・変更に係る事務の簡素化やシステムの改善
- ・事務処理の手引き書作成，配布
- ・農業者や市町村等からの事務改善要望等への柔軟な対応